

経営者のためのデザイン塾 1

高松琴平電気鉄道株式会社様

(社)日本グラフィックデザイナー協会
香川県デザイン協会理事
猪子デザイン研究室 主宰
INOBU SUSUMU

猪子進

新キャラクターの起用でイメージを一新。

ポスターやポップ等に展開「カワイイ」と好印象。

イルカボックスで収集された貴重な意見をもとに、社員教育や施設（トイレの補修他）の改善等、手のつけられる箇所から徐々に改革されていった。

一方キャラクターを様々なシーンに登場させ、徐々に親しみと好感を獲得できるようになってきた。問い合わせも増え、Tシャツやシール等のグッズ展開も始まった。



真鍋康彦新社長を迎え会社再建がスタート。

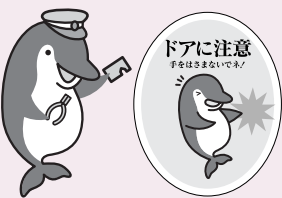
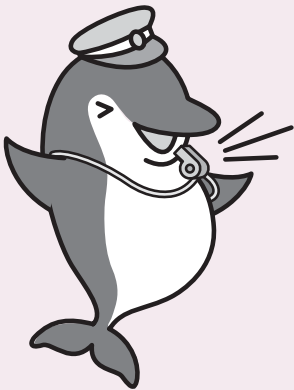
民事再生法により真鍋康彦新社長のもと見事に甦った「ことでん」。真鍋社長の私欲を捨てた会社再建を多くの県民が応援し、絶賛したのは記憶に新しい出来事。現在もその改革は着々と進む。

新ことでんのイメージ戦略は、佐野 正取締役（当時四国旅客鉄道株）からの派遣 現在四国旅客鉄道（株）からの派遣 現在四国旅客鉄道（株）常務取締役・鉄道事業本部長）のもと、アイニチ株式会社（二ノ宮博之社長）をプロデューサーに高崎誠二氏、石垣篤志氏等の協力を得て大胆か

企業が商品開発や新しい事業を展開する場合、まずは長・中・短期的な事業計画や販売計画、広報計画等を構築し、それに基

づいてマーク・ロゴ、キャラクターなどのVI、パッケージ、パンフレット、各種ツールのデザインが制作される。グラフィックデザインはその計画の一部ではあるが果たす役割は大きい。

今回からシリーズで掲載する企画は、グラフィックデザインの果たす役割が大きく関与し、大きくイメージチェンジや販売促進に結びついた企業のご紹介。まず第一弾は劇的に甦った「ことでん」をお届けします。



うみ・まち・さと—心でむすぶ

ことでん



従来のイメージ一掃にキャラクターの起用が必要だった。

まず最初に、今までのマイナスイメージを払拭する必要がある。マーク・ロゴタイプと並行してキャラクターの制作がメインの課題となった。色々なタイプのイルカ（何故イルカなのかは後で記述。）がデザインされ、その中から現在使用のものが採用された。商標調査をクリアし、まずはイルカボックス（ご意見箱）に登場。各駅にイルカボックスを設置し、利用者の要望や苦情の収集から改革の第一歩は始まった。

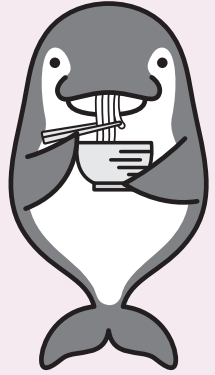


会社イメージを好感度にアピールするキャラクター

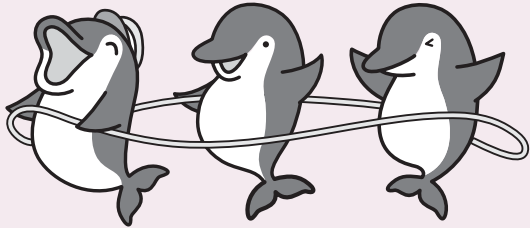
企業のメッセンジャーでありコミュニケーションとしての役割

何故キャラクターにイルカを採用したのか。香川にはそのモチーフとなるものが沢山ある。しかし従来の類似的なものでなく、瀬戸内海と香川、グローバルな地域コミュニケーション、癒しの時代に普遍的に愛されるキャラクターとしてイルカを採用。東讃でもイルカの飼育実験で話題を集めていた。そうした経緯から様々なタイプのイルカを提示し、現在使用のイルカに決定した。

ここで一方的な浸透ではなく、ネット募集計画に取り組み、応募総数1313という話題となり、ことちゃんと命名された。ポスターでも様々なメッセージを伝える「ことでん」の顔として、県民の認知も高まり、各路線の電車のボディに



ことでんバス



もこんぴら参りをしているイルカやお遍路姿のイルカ、源平合戦のイルカを入れ、どんどんアピールした。
中途半端な展開では効果は上がらない。

企業のメッセンジャーとしてのキャラクターを一般の人々に認知してもらう為には、出来るだけ多くの機会を捉え、人々の目に触れることが必要となる。裏を返せば露出頻度の高いメディアを持つ企業にとってはキャラクターが有効である。最近のテレビ局がそうであり、全国展開を図る多数

の企業にも有効と考えられる。そして、そのキャラクターも変化しなければ面白くない。キャラクターにはストーリーがあり、恋人も出来れば、ファミリーもある。自社のホームページ等で進化させると意外な反応を呼び起こすことができる。
キャラクター使用にはルールがある。

一旦キャラクターを創ると企業のものと考えられがちだがそうではない。

制作者には著作権が自動的に権利として認められ、制作者の了解を得ずに他への転用やポイズを変えたりは出来ない。のでご注意ください。又、商品化する場合も同様で必ず制作者側

との取り決めを明確にした契約書が必要。いずれにせよキャラクターのイメージを変えず、さらに進化させて行くには制作者との二人三脚が必要であり大切にしていた。だきたい。



プロフィール

昭和27年3月22日高松生まれ。中京商業高等学校卒業後(有)デザイングループに就職。26歳で独立(有)猪子デザイン研究室設立、現在に至る。グラフィックデザイン一筋。デザインの国際展等に多数入选。香川県デザイン協会の設立に尽力。(社)日本グラフィックデザイナー協会、香川県デザイン協会理事。